

第 3 回

島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

平成27年8月7日

議事録

**平成 27 年度 第 3 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議
議事録**

会議体の名称	第 3 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局 (担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	2015 年 8 月 7 日 (金) 13:30~15:30	
開催場所	島田市役所 4 階第 3 委員会室	
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 地方創生に関するアンケート調査の結果について (2) 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン～未来創造～ (仮称)」(素案)について (3) 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」(素案) について (4) 意見交換 3. 閉会	
出席者	創生市民会議 構成員	1. 島田市自治会連合会 大石会長 2. (欠席) 島田青年会議所 町専務理事 3. お母さん業界新聞 静岡・島田版 杉本編集長 4. 島田市小中学校 P T A 連絡協議会 荒波会長 5. (欠席) N P O クロスメディア島田 大石理事長 6. 島田商工会議所 原田会頭 7. 島田市商工会 大塚会長 8. 島田市観光協会 鳴嶋会長 9. 島田市農業経営振興会 富永副会長 10. 静岡県立島田高等学校 大井副校長 (代理出席) 11. 島田市校長会 内田会長 12. 島田信用金庫 飯塚常務理事 13. 島田・榛北地区労働者福祉協議会 片山会長 14. 島田公共職業安定所 中村所長 15. 島田市 染谷市長 (副市長、教育長)
	オブザーバー	静岡県中部地域政策局 掛澤局長
	司会	島田市市長戦略部 牛尾部長
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 森下課長
	傍聴	報道 市関係者 一般傍聴者

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 3 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表 ● 第 3 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員 ● (資料 1) 地方創生に関するアンケート調査の結果 ● (資料 2) 「地方創生に関するアンケート調査の結果」の反映状況について ● (資料 3) 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン～未来創造～ (仮称)」概要 ● (資料 4) 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン～未来創造～
------	---

	<p>(仮称)」（素案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (資料5) 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略～未来創造～ (仮称)」概要 ● (資料6) 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略～未来創造～ (仮称)」（素案）
--	---

【議事録】

1. 開会

○司会 市長戦略部長（以下、司会）

皆さんこんにちは。定刻より早いですが始めさせていただきます。
 本日は出席を賜りありがとうございます。本日の司会を務めます島田市市長戦略部長の牛尾です。よろしく申し上げます。
 第3回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議を開催させていただきます。
 初めに染谷絹代島田市市長から、ごあいさつを申し上げます。染谷市長よろしく申し上げます。

○染谷市長

皆さんこんにちは。本当に大変暑い毎日ですけれども、お出ましいたさきましてありがとうございます。
 本日で、あつという間に3回目の会議となっております。
 午前中に議会で全員協議会を行いまして、最終処分場明け渡し訴訟の裁判の件について、控訴はしませんと申し上げました。市民の生活を第一に考えた結果でございます。このあと新聞等で報道があると思っておりますけれども、ご報告申し上げます。
 さて、前回の会議を振り返りますと、2060年に人口8万人を目指すとお話させていただきました。そして、その人口8万人を目指すために、今後5年間に実施していく施策を策定するのが総合戦略であり、基本目標として4つ挙げさせていただきました。1つ目は「日本で、世界で、稼ぐ産業の創出」ということを掲げました。そして2つ目は、「島田市に住み、好きになる」、3つ目は「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんやかに子育てする」、4つ目は「水と緑に囲まれた健康長寿の暮らしやすいまちづくり」を掲げました。この4つを基本目標として掲げ、それにかかわる主な取り組みについて説明させていただきました。
 そして、意見交換の中では、島田市から出ていった人たちがいかに島田市に戻ってきていただけるかが重要だということ、そのためには子どもの頃から島田市のことを理解してもらえるようなプロモーションが必要なのではないかといった意見、その一方で県外の大学に進学した人たちが県内に戻ってくるためには、就職先がないといった問題点のご指摘もございました。
 本日の会議では、人口ビジョンの確認、そして総合戦略案の検討を中心にご議論いただくこととなっております。
 最初の5年間に何をすべきかという課題についてしっかりと考えたいと思います。そして、今回の市民会議で皆さんにご検討いただく人口ビジョンと総合戦略につきましては、さらに市民の皆様のご意見をいただくために、8月末から1ヶ月程度パブリックコメントを実施してまいります。
 本日は限られた時間ではございますが、皆様の忌憚のないご意見を頂戴したいと思いますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

○司会 ありがとうございます。本日の出席者に関しては名簿をご覧ください。
なお、本日は、島田青年会議所様と NPO クロスメディア島田様が欠席とな
っておりますのでご報告します。続いて、議事を進めさせていただきます。
議長を染谷市長にお願いしたいと思います。

2. 議事

○染谷市長 それでは議長を務めさせていただきます。
はじめに、(1)の地方創生に関するアンケート調査の結果について、事務局
から説明をお願いいたします。

○事務局 事務局の森下です。
資料1でアンケート調査の結果について説明する。
前は速報値でしたが、今回は自由意見とクロス集計についての結果を報
告しました。
続けて資料2をご覧ください。いただいた意見を反映させたものをまとめ
たものです。
(以下、資料2を説明)

○染谷市長 ありがとうございます。只今説明が終了いたしました。皆様のご意見やご質
問を伺いたいと思います。いかがでしょうか？

○A 構成員 市長が先ほどおっしゃった基本方針の4つは、資料のどこに書いてありませ
るか？

○事務局 資料5・6を用いて、基本方針の4つについて、説明する。

○市長 いかがでしょうか？アンケート調査に関するご意見等ございませんか。

○A 構成員 色々とアンケート調査の結果を見させてもらいました。希望を叶えられたら
良いと思います。どういう手段を持って対応するかご意見をお伺いしたいと思
います。

○市長 どういう手段を持ってということが、総合戦略であると思います。
島田市の課題は、結婚している方たちは概ね2人以上のお子さんを産んでい
ます。しかし、生涯未婚という割合が高いこと、そして晩婚化が進んでいる
こと、そして初婚年齢が高いこと、それらのことが課題だと思っています。
そのため、今までの婚活だけではなく「出会い力の創造」といったコミュニ
ケーション能力から、ファッションに関することなど、そんなところからや
らうと思っています。また、適齢期のお子さんをもつ親御さんのマッチング
など、これまでにないことにも取り組んでいきます。しかし、若い人たちの
気持ちが変わっていかないといけないのかなと思っています。

○B 構成員 アンケートの結果として、お子さんの希望は2人以上が多いようですが、実
際のところは希望どおりになっていない現実がわかります。今、市長がお話
されたように、私たちも「出会いの場」は労働者を中心として提供してい
きたいと思っています。それに加えて、子どもの出産を希望しているが、現実
と違うことについて、原因の把握に努め、取り組みや対策が必要だと思っ
ています。

- C 構成員 高齢者の農家が増えているなか、茶畑は、傾斜地や小区画になっているところがあり、早い段階でお茶の基盤整備が必要である。
農業は、10 年後にどういったところで、何の作物をするのか、また、どこを農地として残すのかなど、焦点を決めた対応が必要となる。
農業のやり方改革が必要である。
- 市長 おっしゃる通りで、山の斜面の耕作地はやる人がいないが、相変わらず国は農地面積の縛りをやっております、それらを自然に帰すこともできません。転換しにくいことは、国にも伝えていかななくてはいけない大きな課題だと思います。他にはいかがでしょうか。
- D 構成員 アンケート結果については上手にまとめてくれたと思います。
中学生・高校生の自慢は「お茶」との回答が多く、厳しい状況とはいえ、やはり、茶を島田の特徴と捉えていることが印象的でした。
- 市長 ありがとうございます。
- E 構成員 島田市のばらの丘公園で実施された「キャンドルナイト」に行ってみました。そこで驚いたのは、小さなお子さん連れの夫婦や、恋人たちがイベントに本当に大勢参加していたことです。
若い人が好きな音楽家を呼んでライブを行い、若い人たちが企画や広報活動をしていました。あんなに若い人や子育て世代が集まる素敵な場所が島田市にはあるんだと思いました。とても質の良いイベントで島田市の「売り」になると思いました。
- 市長 「おしゃれボーイズ」さんが企画してやってくれました。キャンドルナイトはこれまでもやっていますが、彼らの企画力がすばらしく、若い人たちを行政がどう支援していくかということは大事で、これからも力を入れていきたいと思っております。
- E 構成員 是非、取り組んでいただきたいです。
- 市長 続きまして (2) 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン～未来創造(仮称)」(素案)について事務局より説明していただきます。
- 事務局 **資料 3**、**資料 4**
厚い資料の 4 ページをご覧ください。これを抽出したのが**資料 3**です。
(**資料 3**を説明)
資料 4については、前回からどこを変えたかを示した紙を 1 枚挿まさせていただきました。前回の会議後に修正した部分や工夫した部分です。高校生につきましては、卒業後の進路について載せております。
- 市長 ありがとうございます。
- F 構成員 **資料 3**の下の将来展望ですが、海と空港 S L が入ってきますが、そうすると島田市だけでなく、縦や横のラインの自治体との連携も必要になってくると思います。そしてもう 1 つ、空港に関しては地域全体としての考え方も必要だと思います。
- 市長 ありがとうございます。まさにご指摘の通りだと思います。
昔から大井川流域は大変大事にしておりました。この流域の一体感はしつ

かり連携をしていきたいと思ひます。お互いの人口を奪い合うことにならないようしっかり施策を考えたいと思ひます。

- A 構成員 核家族が増えている中で、登校拒否が多くなっていると報道されています。親の背中を見て子は育つと言われますが、昔とは人間の感性が違ってきていると思ひます。子どもの頃からの教育・勉強・体験のなかで、人間味を育てたり、命の大切さを教えたりする必要があるのではないのでしょうか。親からの教育はもちろんですが、組織の中でも、学校教育の「教科」として、取り入れるなどしてもらいたいと思ひます。
- 市長 教育長、この意見に関して何かありますか？
- 教育長 教育に関しては、私たちも考えていかなければならないと思ひます。創生という意味の教育を大事していきたいです。体験教育も各校でやっていますが、どれだけ効果があるかを測るのは難しいところです。教育委員会だよりの8月号で書かせてもらいましたが、子どもたちが当たり前に思っていることの中で、島田市独自の素晴らしさというものもあります。そういったことをきちんと教えていくこと、価値付けていくことが大事だと考えています。例えば、放課後の見守りなども、他の地区ではやっていない島田市の素晴らしいところだと子どもたちに伝えていきたいです。
- A 構成員 やっていただいているのはわかりますが、どこかでもっと思い切ったことをやって欲しいです。そうすれば、学力も上がると思ひます。スポーツでも何でも、何か一生懸命になることで、一緒に学力も上がると思ひます。そのことにより、「島田市に子どもを預けたい」といった、好印象にもつながるのではと思ひます。
- C 構成員 今回の教育に関してですが、どこのまちに住みたいかだと思ひます。住む場所を考慮する要件に、「良い学校」があると思ひます。したがって、勉強する環境をどう作っていくかが大事だと思ひます。医師を呼ぶためにも、「良い学校」は必要だと言われています。
- 市長 他にはいかがでしょうか。
- B 構成員 選択と集中というか、島田市がどこに特化してやっていくかだと思ひます。子どもさんを増やすのは大事ですが、医療費が安く高齢になっても島田市にずっと住みたいと思ふ街も大事であり、どこに特化するかだと思ひます。選択をしていかないと前に進まないと思ひます。まち・ひと・しごとのどこにお金をかけるか、どこに仕事を生むのかを選択する必要があると思ひます。バランスよくやるのか、1つに選択するのかを考えていかななくてはと思ひます。
- C 構成員 農業関係の人を見ていると思うんですが、改革は難しいと思ひます。良いものさえ作れば将来が安定すると思ひている方が多いと思ひますが、実際はそうではありません。農業者に外国の農業を見てもらうことなどいいのではないのでしょうか。どういう形を作れば、農業の主役になれるのかを考えていらっしゃる方が少ないように思ひます。新しい試みをもって投資したり、いろんなことに挑戦していったり、きっかけになる取り組みをやっていただきたいと思ひます。市で導いて欲しいと思ひます。
- 市長 何に特化していくのか。選択と集中については、まさにこの会議の議論の主

題であると思います。行政は、バランスを保つのは得意ですが、そこは苦手なのは事実です。皆さんから、その点についてご意見があれば伺いたいです。それでは、今日の本題であります(3)「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(仮称)」(素案)について事務局から説明させていただきますので、ぜひご意見をいただきたいと思います。

- 事務局 資料5をご覧ください。(資料5の説明)
続いて資料6をご覧ください。(資料6の説明)
- 市長 事務局の説明が終わったところです。皆様のご意見を伺いたいです。
- G 構成員 県外に出た若い人に戻ってきて欲しいのですが、帰ってきて欲しいといっても、仕事がなく家もないということでは、とても実現できません。空き家はたくさんあります。人の財産だから簡単にはできないですが、何とか若い世代に回せるようにならないかと思っています。
もう1つは流動人口の増加にも力を入れていかないといけないと感じます。
- 市長 主な施策にも空き家対策は入っています。事務局、説明してください。
- 事務局 資料6の14ページをご覧ください。(具体的な施策、移住の促進について説明)
- 市長 まさに今、力を入れてやっっていこうと考えていまして、地方創生先行型事業としても、移住定住促進について、実施しているところです。
- H 構成員 総合戦略案は基本的にはよくできていると思います。敢えてお願いするとしたら、企業誘致と絡めて、「働き方改革」をやって欲しい。アンケートの結果を見ると、雇用の安定・正社員化・女性の雇用の安定などを希望する意見がみられるものですから、企業誘致をする際に、働き方のルールを守ることや、短時間勤務、時間外の削減、地域限定雇用をするといった、条件を設定していけば、連鎖的に働き方改革が進んでいくのではないかと考えています。また、それが島田市に住む人が増えることに繋がると思います。
- 市長 ありがとうございます。他にいかがですか？
- I 構成員 今の話、そのとおりだと思いました。私の知りあいの方は転勤が多く、保育園を転々としているという話を聞いて「そんな会社は良くない。従業員の家庭を大事にするような会社でないと良くない。」と言ったことを思い出しました。
資料5の「小中連携の教育の推進」の部分について、「幼保小中高」までの教育として、「幼保」を追加して欲しいです。子どもたちを育てるのに、乳幼児期までが非常に重要だと感じています。
また、様々な事業がテーマパーク化し、ただ楽しませる場になっていないかと感じています。原点に戻ってやる必要があります。そうしないと、自ら考え自ら実行していくことにつながらないと思います。それができるような人を育てていくには、乳幼児期しかないと思います。あと、小1ギャップより小1プロブレムのほうが良いと思うんですが、ここも検討していただきたいと思います。
- E 構成員 関連して、最初に教育関係、次に全体の話をしてもらいたいです。
資料6のP20の豊かな心をもった子どもを育てるところですが、島田には公立高校が4つもあって私学もあります。市内に5校も高校がある素

晴らしい環境があります。そこで、0歳～18歳までを対象として教育を考えていただけたら、とてもいいと思います。また、「豊かな心」の中に、強い心、相手を思いやる心なども加えていただきたいと思います。さらに、キャリア教育、男女共同参画も入るといいと思います。男女共同参画も小さいうちから学ぶと、子育てはみんなで、社会総ぐるみでやっていくということにつながると思います。また、職業体験は、『島田にこんな仕事がある』という情報が子供達にも流れていくので、とてもいいことです。今後、高校生にも「島田のお仕事を紹介します。」というようなこともやっていただけたらいいなと思います。そうすると、県外の大学に行った子も、島田に戻ってあの仕事をしたいと思うのではないのでしょうか。

2点目は、先ほどからいろいろな方法が出されていますが、この島田の目玉は何か、重点や売りは、「これ」というものがあるといいと思います。「ローマ法王に米を食べさせた男」という本があります。限界集落の話で、そこで何を「売り」にし、どう地域を活気づけようとしたか。また、どう人の意欲を高め、行動に移したかということが書かれています。その熱い思い、実践力、マスコミの使い方等々に驚かされました。島田市にあって、「目玉が何か、誰が音頭を取るか」ということが見えてくるとさらに、具体化につながりやすいと思います。最後に、島田市の職員採用試験ポスターの「ROCK YOU」みたいに、この計画の5年間の重点が見えてくるキャッチコピーがあるとよいと思いました。

- 市長 ありがとうございます。良いご意見を沢山もらえました。私の方でひとつお詫びを申し上げます。『豊かな心をもった子どもを育成する』というところで、市の教育委員会に投げてしまったので、ゼロ歳児からの配慮が足りないと思いました。お詫びをさせていただきます。スタッフが一生懸命考えても、どれに特化するかアイデアを出すのが難しかったです。島田市は、平均的にバランスの取れた良いまちです。だからこそ難しいところがあると感じています。ぜひ皆様のご意見をいただきたいです。キャッチコピーに関して事務局から説明をお願いします。
- 事務局 **資料5**の黄色い部分の下段で、「シティプロモーションによるまちの魅力創造」とありますが、具体的な手立てを盛り込んでこれからやっていこうというところがございます。全体的な構成の一つとなっています。
- 市長 総合戦略そのもののキャッチコピーをつけるというのは、良いアイデアだなと思いました。
- D構成員 近い将来、間違いなく増えていくのは高齢者です。高齢者を積極的に活躍・参画できるような、何か施策をお願いしたいと思っています。
- 市長 それは本当に分かります。高齢者は、支えてもらう側だけではなく、互いに支えあう社会を目指していくということ、それは子育てにも言えることだと思います。何か他にご意見ありますでしょうか？
- J構成員 学校が固すぎると感じています。高齢者や地域の力を借りてかかわることで生まれるつながりが、勉強の学びだけではなく生きる力も学べると思います。関わる大人が多ければ多いほど、生きる底力を学べると思います。学校に地域の大人たちが関われる機会があれば良いと思います。**資料6**第1章P2に書かれている「ほっと定住プロジェクト」「やりがい協働プロジェクト」「にぎわい交流プロジェクト」とありますが、これはどのような内容でしょうか。

- 市長 これらは島田市の総合計画にある重点プロジェクトです。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (島田市総合計画の冊子を掲げながら) 冊子としてはこちらですが、HPからもダウンロードできます。重点プロジェクトは3つあり、これらが動き歯車をかみあわせることで、まちを動かしていきましょうということを表しています。まず「ほっと定住プロジェクト」については定住にかかわるプロジェクトを掲げております。「やりがい協働プロジェクト」については、ライフスタイル・ライフステージに応じて誰もが活躍できる機会づくりを掲げております。「にぎわい交流プロジェクト」については、魅力ある街づくりを掲げております。これらの下に事業を組み立てているというところでございます。
- 市長 厚い冊子ですが、概略版があるので見ていただきたいと思います。
- E 構成員 今後、皆が島田の未来に危機感や何かしたいという思いを持つことが大事だと思います。
- F 構成員 夢を持ったら良いと思います。市民が実現したい夢は、何だろうと思ったりします。
- C 構成員 具体的な話に入った方が面白いと思います。自転車やウォーキングができるように楽しんで歩く道をつくるとか、駅前に噴水をつくり、それをモニターで映す、そうするとそこに子どもが遊びに来るとか、何か面白いものを作ろうと具体的に楽しくなることを自由に考えたら良いと思います。
- 市長 お話しいただいた通り、自由な発想、飛び抜けた発想が必要だと思っております。発想力、行動力を持つ民間の人たちとどれだけつながっているかが非常に重要だと思えました。
もう一つ、危機感を持つことが大事ということに関しまして、これまでの島田が豊かだった体質がなかなか消えないというところがあったように思います。
今、地方創生で成功している地域は、人口減少で極端に困っており、危機感を持っていた地域です。そして、それを変えようと熱意を持った「ヒト」が現れたので成功しています。よその真似では成功しません。どれだけ地方創生と戦略の中に、地域の「ヒト」を巻き込んでいけるかが大切だと思っております。

(4) 意見交換

- 市長 これから先は自由な意見交換にしたいと思います。
- J 構成員 アンケートを見ると「結婚はしたい、子供は持ちたい」というのが多いですが、現実には、希望が叶えられていないことがわかります。子育てのサポートが必要なのではないかと思えます。核家族が増える昨今、地域の人との関わりの中で学ぶことも大切だと思っております。私自身も地域にお世話になったり、子育てを手伝ってもらっていますが、自分たちだけではどうしようもないという家族も増えてきていると聞いています。その中で地域や企業がサポートして、「子育てしながら働きたい」お母さんたちの希望を叶えてあげられればと思います。

- K 構成員 私も「選択と集中」は重要だと思っています。出生率については、資料にあるように子育てにお金がかかりすぎて子どもが作れないというのが 70%を超えていて、子どもを育てるためには働かなくてはいけない現状だとわかります。私自身も子どもとたくさん一緒に居てあげたいが、働かないと養えない現実があります。どこかに重点をおいて施策を行うのは大事だと思います。例えば、高校まで教育費を無料にするとか、一点突破していけば、他のことも付随して良くなるのではと思います。あと、この会議に参加されている方で 2060 年まで生きている方がいたら良いなと思います。
- L 構成員 私は旧金谷町の住民ですが、石畳をみんなで作りました。地域の人々で何かできることがあれば良いと思います。観光客だけでなく、地域の方も安心して子どもを連れて歩けるような場所があると良いです。みんなで作ったから大事に使おうとか、普段の生活で使い便利になり、愛着が湧くということにつながれば良いなと思います。
島田には観光スポットや誇れるものがたくさんあります。奈良の飛鳥は、自転車を借りて走りながら、史跡を巡ったりお土産屋さん立ち寄りしたりして、1 日楽しく過ごせるようになっていますが、島田市でも見習えることが多々あると思います。
- C 構成員 結構良いお寺があるが、観光客が全然行かないですね。近隣自治体の名所を含めて、何かうまいコースを作って、PR していけば良いと思います。
- 市長 何に特化していくかを決めるのは大きな問題でして、何かに特化すれば、どこかを捨てることにつながる話です。全国的に子どもを大事にする施策にお金をかけていく風潮ですが、高齢者が増えていけば高齢者も大事にしていこうということも島田市にとってはすごく大事な施策です。あっちもこっちもだとバランスが取れているが、特色のないものになってしまうという、総合戦略を策定する上で、一番悩んでいるところです。そのあたりご意見をいただけると有り難いのですが、いかがでしょうか。
- オブザーバー 先ほど、自治体間の連携について、大井川流域での縦の連携、また、志太 3 市等の横の連携というお話がありましたが、広域連携の取組はまさに中部地域政策局の所管でして、一昨日の 8 月 5 日には、「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議 第 2 回志太榛原・中東遠地域会議」を開催し、島田市さんを始めとした志太榛原・中東遠地域の市町の皆様にも御出席いただき、県の地方版総合戦略について御意見をいただいたところです。
この地域の特徴としましては、お茶や空港、新東名などが挙げられ、これらを活かした交流人口の拡大に重点的に取り組んでいきたいと思っています。その中で、今年度、当局管内の 5 市 2 町でこれから取り組んでいこうとしていることとしましては、まず 1 つは空き家対策です。世界的に、Air BnB 等の民間事業者が、空き部屋等をいわゆる「ゲストハウス」として旅行者に提供する取組が注目を集めており、大井川流域でも、外国人向けに提供できる物件は多いと思います。ただ、制度として国でも法律改正等検討中のものでもありますので、管内市町と研究会を立ち上げて、研究していきたいと思っています。
もう一点は観光です。伊豆や浜松では、観光客に地域ならではの旅をコーディネートする“ツアーセンター”が設置されております。観光客の満足度を高めてリピーターを創出するために、中部地域にも同様の仕組みを作ることを目指しております、こちらも研究会を立ち上げて、交流人口の拡大につなげていきたいと思っています。

- 市長 他にいかがでしょうか。
- B 構成員 先ほど、若い人の子育てにお金がかかるということや高齢者の活用の話が出ました、高齢者にお子さんを面倒見ていただければ、かかるお金は減ると思います。その予算で医療費を補助するなど助けていけば良いのではないかと思います。
- 市長 元気でいらっしゃる高齢者の方が、週に1日でも社会貢献したいとか、貢献する気持ちになるということとはとても大事だと思います。
何に特化するかは難しい課題ですが、議論のなかでたくさんアイデアが出てくると、我々の総合戦略は他市と差別化したものができると思います。
- F 構成員 13 ページで「新中心市街地活性化基本計画の策定」とありますが、以前こども館に、「飲食店マップ」を貼って欲しいとお願いしたところ、規制があるのか叶わなかったことがあったと記憶しています。規制緩和できるところは、何とかお願いしたいと思います。
- 市長 行政は協力すると言っているが、規制だらけで思うようになかなかいかないという声も聞きます。様々な規制がありますが、規制緩和は考える必要があると思います。
ある所は県の施設ですが、エレベーターの中にたくさんチラシがあるところもありますので、様々なやり方があると思います。
- H 構成員 行政は、一生懸命地域でやっておられる方のアイデアの実現に向けて、支援できるような環境を整えていただきたいと思います。
- C 構成員 お茶の振興協会で、像を作るという話があります。おび通りを考えたが、からくり時計は良いけれど、芸術作品は駄目だとか規制があるそうですね。
- 市長 道路なので規制があるのかもしれませんが。
企画力や行動力を持っている人たちがやりやすいようなお手伝いをしていかないといけないのが、これからの行政の役割だと思っております。
- L 構成員 最後に一つ良いでしょうか。子育ての件で、以前に企業も地方公共団体も行動計画を作ったことがありましたが、それを検証することが焦点化に結びつくのではないかと思います。
- 市長 平成16年に「次世代育成支援推進法」という10年間の時限立法が出来て、平成17年3月に「島田市次世代支援行動計画」が義務付けられ、島田市も作りました。5年経って求められるニーズが変わってありました。10年経って子育ては様変わりして、子育て支援として求められているものが変わってきているのが現状です

< 3. 閉会 >

- 市長 そろそろ時間になりましたので、本日の議事につきましてはここまでとさせていただきます。
今日の議事内容で皆さまからいただきましたご意見を踏まえまして、人口ビジョン・総合戦略の策定にあたらせていただきたいと思います。
それでは会議の進行を事務局にお返しいたします。
- 司会 本当に熱心にご議論いただきましてありがとうございました。

本日予定しておりました議事は、全て終了いたしました。
それでは次回会議について、事務局からご案内をさせていただきます。

○事務局 本日は大変ありがとうございました。
この後、8月下旬からパブリックコメントということで、さらに市民の皆さん含め広くご意見をいただきます。そして、その内容を取りまとめまして、10月23日（金）午前10時から第4回目の会議を予定しています。

○司会 本日は、ご多用の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。
以上をもちまして閉会いたします。

以上